

# 石鹼玉遊びの玩具いろいろ

東京女子高等師範學校講師

藤 五代 策

子供の遊び方には様々ありますが、中にも、しゃぼん玉を吹いて遊ぶこゝろなどは、最も無邪氣で、活動的で、安全な遊びでございます、次には私の考案した「しゃぼん」玉遊びの玩具三四の作り方をお話し申上げませう。

## 一 しゃぼん液の作り方

水道の水又は雨水（礦物質を含んだ水は宜敷くありません）を綺麗な皿に少許を入れ、普通の石鹼を皿の底に當てゴシ／＼擦りおろしますと、だん／＼粘り液になります、若しリスリン一滴を滴らし込みますと、一層粘り強くなります、（熱いお湯で急に溶いた液はよく使用されません）かうして作った液には、埃の這らぬやうに蓋をしますのです。

## 二 頭大の石鹼玉の出来る玩具

西洋糸巻心の一方の孔に、古筆の軸を刺し込んで、他の孔を初め作った「しゃぼん」液の中に浸して引き上げ、風の吹かない處で、筆軸を喰へて徐々に吹きますと、だん／＼大い「しゃぼん」玉になります、そして、六七回も息を継ぎ代へて吹きますと、遂には直径七八寸な大い「しゃぼん」玉になります、子供は不思議がつて有頂天になつて喜びます、又之を見てゐる大人でも、手を拍つて驚くでせう、若し此の「しゃぼん」玉を日光に當てますと「しゃぼん」玉の表面には、虹を見たやうな綺麗な縞模様が映りますので、又ぞろびつくりするでせう。

その縞模様の映るのは、太陽の光線が、光の干渉作用に

よつて、斯様な現象を來たすの  
です。

直徑五六寸の大きい「しやほん」玉が出來ます。

### 三 左右に吹き出るし

#### やほん玉の玩具

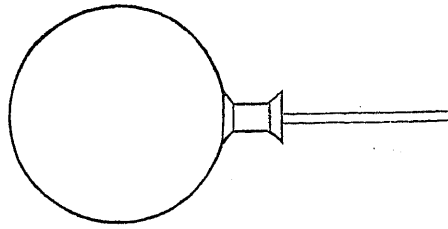
西洋糸巻心の一側面に、錘で  
孔を穿ち、更に赤く熱した火箸  
の先を突き貫きますと、直徑三

直徑三分位の軸を長三寸に切り第三圖(ハ)(ニ)の部に二  
つの孔を穿ちます。次に石鹼片を直徑三分、長五分位の圓  
柱に削りて、中に錐孔を穿ちますと、丁度(ホ)(ヘ)の形に  
なりますから、此の圓柱を(イ)(ロ)筆軸の下端内に嵌める

第

一

圖



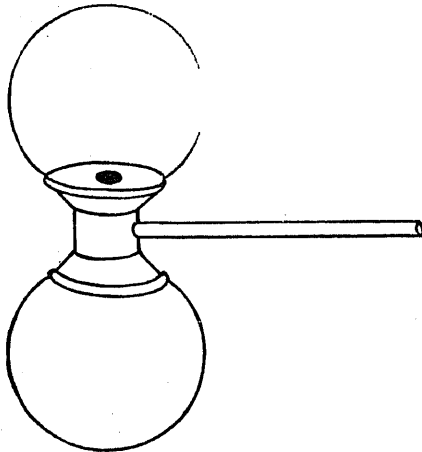
分位の孔が明きますから、其孔に  
第二圖のやうに、古筆の軸を突き  
込みますと、丁度でんく大鼓の  
形になります。

今此の糸巻心の左右の孔にし  
やほん液を浸して、第一と同様の  
方法で徐々に吹きますと、左右に

第

二

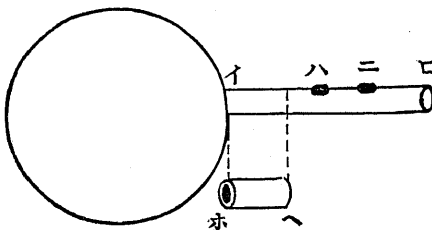
圖



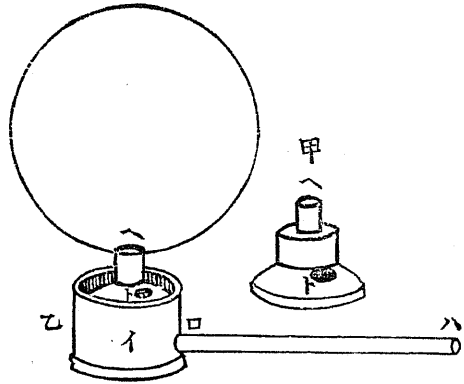
第

三

圖



第 四 圖



のです、今微温湯中に此の玩具の下端を浸して引き出し、普通の「しやほん」玉を吹くやうにして吹きますと、大いに浸しかへる必要はありませんので至極便利であります。

四 便利なしやほん玉吹き玩具（其二）

第四圖甲は西洋糸巻心を、一二つに切り、（ト）の部に大い

石鹼玉遊びの玩具いろく

錐孔を穿ち、（へ）に短い管竹を刺したものです。

乙は直径七八分位、節のある短い竹筒の（ロ）の部に筆軸を嵌め、管内には甲の装置を嵌めたものです。

今「しやほん」液をこの筒内に注ぎ込みますと、（ト）の孔から下に滴ります、此のとき（ハ）を喰へて吹きますと、（へ）の管口から大い「しやほん」玉が吹き出ます、それが、練習がつみますと、「しやほん」玉は、空へフワリくと飛んで参ります、此の玩具も筒内に少しでも、「しやほん」液のある間は幾回でも行ふことが出来ます。

子どもは破壊を好むものである。そして基礎を好むものである。

世界の歴史は興亡の歴史である。破壊と建設との歴史である。

だから世界各國の榮枯盛衰は、大人のうちにひそむ童心の發動現象とも見られやう。

K・M